

議員全員協議会会議録

平成30年12月4日

宮古市議会

平成30年12月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(12月4日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のための出席者	2
議会事務局出席者	2
開 会	4
説明事項(1)	3
閉 会	10

宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時

平成30年12月4日（火曜日） 午前10時00分

場 所

議事堂 委員会室

○

事 件

〔説明事項〕

（1）宮古市復興交付金事業計画について

出席議員（22名）

1 番 白 石 雅 一 君
3 番 西 村 昭 二 君
5 番 小 島 直 也 君
7 番 熊 坂 伸 子 君
9 番 橋 本 久 夫 君
11 番 佐々木 重 勝 君
13 番 坂 本 悦 夫 君
15 番 竹 花 邦 彦 君
17 番 松 本 尚 美 君
19 番 藤 原 光 昭 君
21 番 工 藤 小 百 合 君

2 番 木 村 誠 君
4 番 畠 山 茂 君
6 番 鳥 居 晋 君
8 番 佐々木 清 明 君
10 番 伊 藤 清 君
12 番 高 橋 秀 正 君
14 番 長 門 孝 則 君
16 番 落 合 久 三 君
18 番 加 藤 俊 郎 君
20 番 田 中 尚 君
22 番 古 舘 章 秀 君

欠席議員（0名）

なし

説明のための出席者

説明事項（1）

企 画 部 長 松 下 寛 君
復 興 推 進 課
副 主 幹 兼 復 興
推 進 係 長 北 舘 克 彦 君

復 興 推 進 課 長 岩 間 健 君

議会事務局出席者

事 務 局 長 菊 地 俊 二
主 査 高 村 学

次 長 松 橋 かおる

開 会

午後1時00分 開会

○議長（古舘章秀君） おはようございます。定刻になりました。ただいまから議員全員協議会を開会いたします。ただいままでの出席は21名でございます。会議は成立しております。

○

説明事項（１） 宮古市復興交付金事業計画について

○議長（古舘章秀君） それでは次第に従いまして会議を進めてまいります。説明事項の1.宮古市復興交付金事業計画について説明をお願いします。

松下企画部長。

○企画部長（松下寛君） おはようございます。本日は宮古市復興交付金事業計画につきまして、2点についてご説明申し上げます。

1点目の第22回復興交付金、事業計画につきましては、本年10月10日に復興庁に申請いたしまして、11月30日付けで採択されたものでございます。事業につきましては継続事業4事業、6億710万円でございます。

それから2点目、復興交付金基金農林水産省事業分の一部変更について。これにつきましては、事業が完成したことから、復興交付金の一部を返還するものでございます。

本日は説明事項2点でございます。よろしくお願いいたします。詳細につきましては、復興推進課長から説明させますのでよろしくお願いいたします。

○議長（古舘章秀君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） おはようございます。よろしくお願いいたします。それでは、ご説明は席に座ったままでさせていただくことをお許しください。それではご説明に入ります。資料の表紙に、今部長申し上げたとおり二つの点についてご説明申し上げます。

1ページをお開きください。こちらが第22回復興交付金事業計画採択事業についての一覧表となっております。金額は事業費ベースでございます。事業については四つ採択をされました。上から三つまでが基幹事業。最後4番目が効果促進事業ということで、いずれについても継続事業となっております。

1番上から仮称胡瓜沢線道路整備事業については、事業費として2億4,400万円が認められ、こちらについては31年度工事費ということでの採択となりました。補助率は0.8。8割でございますので、この2億4,400万円に8掛けをしますと1億9,520万円というふうになります。事業については32年度完了を目指しております。

2番目、高浜地区道路整備事業でございます。こちらは3億1,300万円採択されました。こちらも31年度事業の工事費として認められたもので、先ほど同様に8割の交付金率となりますので、交付金のほうは2億5,040万円となっております。32年度までの事業完了を目指しております。

3番目の埋蔵文化財発掘調査事業。こちらについては3,010万円認められました。こちらも31年度分としてでございますが、補助率が4分の3。0.75ということで、2,257万5,000円の交付金となります。こちらも32年度完了を目指しております。

最後4番目でございますが、野外活動交流促進施設津波避難整備事業。担当は危機管理監になりますが、2,000万円認められました。こちらについては、全体が2,400万円ということで、本年度400万円で実施設計、測量試験をしております。こちらについては、当初31年度施工予定の工事費と見込んでおりましたが、事業を前倒ししまして、本年度着手で31年度完成を目指すものでございます。この四つ目については交付金率が0.8。8掛けで

ございますので、交付金は1,600万円となります。

いずれも事業の交付金の裏財源としましては、震災特別交付税及び復興基金ということになりますが、1番から3番までの事業については当初予算。4番の事業については、今回の12月定例会議における予算のほうで上程をさせていただきたいという事業になっております。

それでは、その内容については、3ページをお開きいただきたいと思います。A3の紙の3ページにちょっと字が細かいところではございますが、こちらに1番上の文部科学省計というところに、1番という事業のところに埋蔵文化財発掘調査事業とございます。こちらは継続事業でございますけども、表の真ん中あたりに、第22回事業計画(交付可能通知額)のところの金額をご覧くださいますと、先ほどご説明した金額がこちらに記載されておるところでございます。交付対象事業費が3,010万円。これに対して2,257万5,000円の交付金額。こちらは今回、国のほうから配分を受けるものでございます。

そして、先ほどの1ページの一覧表の1番の事業が、真ん中にちょうど国土交通省計というところがあると思います。そちらの事業番号1番が胡瓜沢線の道路整備事業でございます。また、8番目の事業が高浜地区道路整備事業ということで、こちらの二つについては、先ほどの真ん中のところ見ていただきましたが、既配分額からの流用ということで、ほかの事業で完了した事業のお金を流用させていただくということで、復興庁との協議が進んでいるものでございますので、ここには既配分額からの流用のため配分なしというふうに記載してございます。

同様に戻っていただきます。上のほうに戻っていただいて、農林水産省計の8番目の事業が野外活動交流促進施設津波避難整備事業になります。こちらも真ん中のあたりを見ていただくとわかると思いますが、既配分額からの利用のため配分なしということになっております。これらの事業を含めまして、現在進んでおる事業は102事業ございます。

3ページから5ページまでが全体の事業の概要でございますが、これは後でお目通しをお願いしたいと思っております。

それでは2ページに戻っていただきたいと思います。復興交付金事業計画の総括表となります。毎回この表でお示ししているところでございますが、復興交付金交付経過の1番右側の上のほうをご覧くださいます。回数で第22回。交付可能額通知は30年11月にいただいたもので、今回、実際に配分を受けるものは埋蔵文化財発掘調査事業のみでございますので、こちらにその金額が記載してございます。そして、これまでの経過の中でトータルでは交付金額対象事業費ですと、そこの下のほうをたどっていただきますと840億5,980万2,000円。交付金額ベースですと671億7,928万3,000円となっております。今お話した数字が下の表の(C)の真ん中の欄の1番下、宮古市事業計(エ)というところに転記されているものでございます。(C)の1番下のところの交付対象事業費、840億云々という部分と、③の交付金額は671億円というふうになっております。

そちらの下の表の右のほうに移っていただきますと、D欄の復興交付金事業の状況(10月末現在)というところの1番下の合計のところをご覧くださいますと、④の執行済事業費で事業費ベースが707億9,607万2,000円。未執行事業費。これは今後執行が見込まれる部分ということでございますが、102億8,604万8,000円。執行残見込事業費が29億1,213万4,000円。

次に、(E)というところが未交付事業費。これは、今後申請予定をしている事業の全体像でございますが、22億8,273万2,000円となっております。さらにその右をご覧くださいます。事業数は102事業。継続事業が33。完了・廃止事業69ということで今進捗しておるところでございます。

これで（１）の説明を終わりますけれども、22回申請については以上でございますが、23回申請の予定については、口頭でお話ししますが、12月7日、今週末に復興庁からの策定支援ということでアドバイスをいただいて、1月中旬に申請予定となっております。例年どおり2月下旬ごろに配分可能額通知ございますので、また、3月定例会議等の期間中に、ご報告を申し上げたいと思っております。

次は（２）の説明に入ります。資料2のほうの説明がありますけれども、その前に先ほどの2ページをもう一度お開きいただきます。2ページの総括表の省庁ごとの欄を区分ということでご覧いただきたいのですが。その農林水産省というところの1番右のほうをたどっていただきます。備考欄に事業数19。完了・廃止17。継続2というところでございます。こちらの内訳については、次の3ページの上の半分に農林水産省計というところに全19事業とございます。こちらの19事業でございますが、そのうち完了事業が17。そして継続中のものが二つございます。継続中の二つについては、事業ナンバー8番、先ほどご説明しました姉吉の避難通路の整備事業。もう一つが17番、市場の既設棟の改修事業。先般認めていただきました事業について継続していると。この二つが事業として継続しているものということで、ご覧いただきたいと思います。

これを踏まえまして、次の説明に入らせていただきますが、資料は6ページをお開きください。A3の横長の6ページになります。資料のタイトルは復興交付金基金（農林水産省事業分）の一部返還についてという資料になります。こちらにつきましては、復興交付金の第21回申請の採択事業の時も若干説明をさせていただいてるところでございますが、交付金事業の執行残の最終返還というのは、全ての事業完了する33年度を予定しておりますが、農水省事業につきましては、今後の執行見込みのない事業等の一部の返還を今年度中に行うということで、農水省と復興庁と調整をして額が示されたものでございます。

この返還の根拠となるものは、農林水産省の東日本大震災復興交付金交付要綱に基づくものでございます。今回返還となるものは一部でございますが、その内訳がこの資料にございます。この資料の1番上をご覧ください、ちょっと読み上げたいと思いますが、復興交付金事業（農林水産省事業分）では基幹事業8事業、効果促進事業を11事業の計19事業を実施して参りました。平成29年度末現在で17事業が完了している状況でございます。その事業費の執行残分5億6,702万3,000円について、この年明けの1月に発出予定の農林水産省通知により返還を行おうとするものでございます。

こちらの表は先ほどの3ページの表を抜粋したものでございますけれども、この表でご覧いただく部分なのですが、真ん中より若干左手に継続・完了・未着手・廃止・新規とございます。お話ししましたとおり、19事業中17事業完了しておりますので、全て完了という記載がございます。その右をご覧くださいまして、既配分額29年度末ということで、事業費（流用後）、国費（流用後）ということで、確定ということでの事業費になっておりますけれども、こちらの全事業の合計が1番下の合計欄をご覧ください。国費のところだけでお話しさせていただきますが、87億3,356万1,000円というふうになっておりますが、これが配分された金額。そして、次の右の欄に移っていただいて、支出済額の29年度末の国費の部分の合計欄をご覧ください。こちらで81億6,653万8,000円。こちらで事業完了してございますので、この差し引きの中で国庫返還額、国費の部分の合計5億6,702万3,000円を、今回返還しようとするものでございます。

通知が農水省から参ります。それから20日以内での返還ということで指示がございますので、12月の補正予算のほうに計上させていただきたいと思っております。なお、農水省事業につきましては、この確定した事業については、返還することにはなりますけれども、一括交付分の事業がまだ残っております。継続事業もございまして、これから事業化する部分で今協議中の事業もございまして、これらについての執行については、支障がな

いものということで、こちら確定したものについての返還ということで整理をさせていただいております。

以上（１）と（２）の説明、報告事項については終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（古舘章秀君） 説明が終わりました。この件について、何かご質問があれば挙手願います。

松本議員。

○17番（松本尚美君） すいません。ちょっと２点確認をさせていただきたいんですが。埋蔵文化財の事業ですけども、継続事業ということですが。ちょっと聞き取れなかったのかもしれませんが、これはいつ、33年度でそれ以上はないと思うんですけれども。まず、いつまでなのかちょっと確認します。

○議長（古舘章秀君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） はい。復興交付金事業として32年度に終了でございます。つけ加えさせていただきますが、発掘事業自体は完了をしております、調査報告書の作成を順次毎年度、５件とか10件とか整理をさせていただいている段階でございますので、32年度で完了いたします。

○議長（古舘章秀君） 松本議員。

○17番（松本尚美君） この調査事業報告書作成にかかる費用というのは、聞いて何となくわかるような気がするんですが。これで、例えば発掘された文化財が、もう限りなく100%ですね。今回震災に関連してでしょうか。限りなく、なんていうんですかね。仕分けも含めてですね、収蔵できる状況になるということですか。それとも、まだ中途半端で32年度で国の交付金の対象から外れるけれども、自主財源でもって継続して調査というのかな。これ、どこまでを調査っていうのがちょっとわからないんですが、そこをちょっと説明できますか。

○議長（古舘章秀君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） はい。今まで文化課のほうで作業しておりましたけども、発掘調査自体、復旧作業とか復興事業に支障がある部分について、先行して調査を進めてきて、それ終わっております。ご案内のとおり、各自治体からも派遣の職員をいただく中で、ほぼ、お帰りいただいているところでございまして、今残っている事業は、その報告書を整理する事業だけでございますので、そのあと33年度以降にまだ残るということではございませんということで聞いております。

○議長（古舘章秀君） 松本議員。

○17番（松本尚美君） はい。教育委員会がないので、ちょっと確認しづらいところもあるんですけども。この収蔵ですね。そういった発掘されたものを、これをどうするのかっていうか。先のことはわかりますか。それを崎山の収蔵施設に全て収めることではないと思うんですが。引き続き空き校舎とかですね、ああいった部分を使って、所蔵していくのかどうか。その辺の確認はできますか。

○議長（古舘章秀君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間健君） 申しわけございません。私のほうで今の段階で確認しておりませんので、別途確認をさせていただきます。

○議長（古舘章秀君） 松本議員。

○17番（松本尚美君） あと確認事項の２点目なんですけれども。この復興交付金事業全体で、対象事業が840億5,900万円と。そして、交付額が671億7,000円。671億7,900万ですか。この差額についての対応なんですけれども、私の理解では限りなく100パーセント、特別交付金含めてですね、補填できる。ただ、残念ながら途中で国のほうは、やはり地元負担という部分が必要ではないかと。以前に6,000万円ばかりではないか。6,000万円台かなというお話もありましたけれども。地元負担ですね。宮古市の負担。これがどういう状況になっているのか、

今時点でわかれば教えてください。

○復興推進課副主幹兼復興推進係長（北舘克彦君） はい、復興推進係長の北舘と申します。一部負担分につきましては、当初1億2,000万円ぐらいの負担ということで見込んでございます。そして現在までに5,000万円近く of 負担が出ている部分でございます。復興交付金以外にも社会資本整備総合交付金の復興枠等に出ている部分がございます、復興交付金につきましては、基幹事業のほうは基本的には出ないということになってございます。効果促進の部分で5%という形になってございますけれども、今回につきましては、流用措置ということで、一部負担はないという形でこちらのほうは把握してございます。

○議長（古舘章秀君） 松本議員。

○17番（松本尚美君） 失礼しました。1億2,000万円の見込みということでしたね。これは確定する時期っていうのは、そうすると最後年度になるんですか。それとも今現在ね。先ほど5000万円弱と、前後と言われていたんですが、その把握から言えば、まだ半分ぐらいかな。しかし、事業費の執行ベースからいけば、もう限りなく90%は楽に超えているんじゃないかなというふうに思うんですけども。そこは、最終は幾らなのかっていうのは、どうなんですか。ギャップがありそうな気がするんですけど。

○復興推進課副主幹兼復興推進係長（北舘克彦君） 毎年実績が上がってくる部分がございます、そのところでの約5,000万円ぐらいというお答えでございました。最終的に復興交付金のほうでも、交付申請をした後の決定ということで、金額が固まって参りますので、毎年度加算していく形で。実績は32年度末には出てくるという形でございます。

○議長（古舘章秀君） 田中議員。

○20番（田中 尚君） 資料No. 2の6ページをちょっとご覧いただきたいと思うんですが。ここの説明の部分で、担当課がないので、ちょっとどうかなという思いもありながら、ちょっと伺うわけではありますが。

一つはですね。今回事業の確定に伴いまして、つまり完了したことに伴う国庫返還金ということで、ざっと5億6,700万円というふうなご説明をいただいているわけではありますが。ちょっと気になったのは、水産加工関係の変化が大変大きいというふうな数字が見て取れます。5億6,700万円のうち、ざっと4億円強ですね、水産加工団地関連の整備なんです。これはちょっと課長さんのところで、お答え可能なかどうかのなにか懸念がありますけれども。簡単に言いますと、入札執行残というふうなことで理解していいのか、どうなのかっていうことについてお答えできますか。あるいは、そもそも事業規模の縮小。どっちでしょうか。

○議長（古舘章秀君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） お答えいたします。ただ私の話は一般論になってしまうかもしれませんが、いろいろな要因がございます。入札執行残もございます。計画見直し、変更による減もあります。あとは補助金タイプの交付金については、補助金の申請に基づいて執行するものもございまして、申請がなかったという意味での残というものがございます。さまざまな要因があるかと思えます。ただ当初、やはり我々のほうでは全ての事業について、全ての事業者、全ての被災者の方々を支援するという意味での配分を頂いたということでのギャップが大きいのかなと思っています。ちょっと詳細な分析になりませんが、以上でございます。

○議長（古舘章秀君） 田中議員。

○20番（田中 尚君） 冒頭お断りしたように、本来復興推進課長さんのほうに、今私がちょっと疑問に思った部分をですね。お伺いするのは、そもそも無理があるという思いもありますので、今粗々で制度の枠組みのご説明を頂いたというふうに理解をいたします。ただその上で、ちょっと課長さんにお話しするのがどうか分かりま

せんが、やっぱり宮古にとって、この水産加工施設をどうするかっていうことは、逆に言いますと、鉾ヶ崎地区のまちづくりですね。根幹をなす部分でもあるんです。それは、結果的にこういう形というのは、当初計画のやつが整備をされてこうだっていうのであれば、私は何も文句言いませんが、中には事業の縮小もというお話もありました。ここはちょっと十分精査が必要なのかなという思いをしています。

そこでもう一つの質問。同じような意味で、これも課長さんにお伺いするのちょっとつらい部分があるんですが。10番目、再生可能エネルギープロジェクト整備事業というものが完了しております。そもそも事業費自体がですね、3,200万っていうのはね。これで宮古市の全産業の再生可能エネルギーという計画だったのかという思いがあります。そもそも規模が小さいというか、かわいいっていうか。幼児にもならないというかね。そういう思いをしているんですが。

これは、いずれ初めからの事業費が、こういうことで結果的には事業の完了に伴いまして、もちろん事業費が小さいですから、返還金もわずか40万7000円しか返っていかない状況でありますけれども。これは復興推進という大きな目標を掲げた時にですね。再生可能エネルギーを宮古市が新しいまちづくりにどう取り入れるのかという問題でもあると、私は受けとめておりますが。そういった意味で、ちょっとここは、どんなふうに受けとめたらいいのかっていうことを、もし感想ございましたら、お聞かせいただきたい。

○議長（古舘章秀君） 松下企画部長。

○企画部長（松下 寛君） 先ほど田中議員からの二つの指摘。一つ目は水産加工団地の関係のところ。それから今回の再生可能エネルギー。確かにこういう状況がどういう背景で起こったかということにつきましては、私どもの復興交付金事業を進めていく上で、その背景をしっかりと把握していきたいというふうに思っております。返還額が多かった二つの事業。それから、今回ご指摘の再生可能エネルギーについて、どういうふうなところでこういう結果になっているのかと。ここはしっかりと検証して今後の事業執行に生かして参りたいと思っております。

○議長（古舘章秀君） 落合議員。

○16番（落合久三君） 2点。資料の4ページ。4ページの1番左の通し番号28番。津軽石地区津波復興拠点整備事業。このタイミングで聞くのちょっと認識不足をさらけ出すようで申しわけないですが。前回までの交付金額がそっくり執行されないで、廃止っていうふうになっています。この事業の中身が簡潔に書いてありますが、津軽石地区の公的施設等を集約することにより、居住環境の向上を図るための敷地の整備と。何となくイメージはできるんですが。そもそも交付されたものが、そっくり執行されないで廃止っていうのは、どういう意味なのかっていうことを、まず教えてください。

○議長（古舘章秀君） はい。岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） 大変申しわけございません。今手持ちの資料がございませんので、後で皆さんにご報告したいと思います。

○議長（古舘章秀君） 落合議員。

○16番（落合久三君） はい。じゃあもう一つ。同じページの通し番号53番。越田山都市公園事業。ここは、最近も現地を見てきたんですが。この1番右に、この事業は完了ってこうなっているんですが。ちょっと数日前に行ってみたときは、ブルドーザーも入って、確かに上のほうですね。越田山ってわかりますか。ラーメン屋のアジキウーさんがある背後の山。北星株式会社の裏側と言ってもいいかもしれませんが。あその頂上に近いところに一定の、350平米だったと思うんですが。約100坪ぐらいの一時避難場所を造る。そこで今下のほうから上

っていく、避難するときに上る通路も今造っている最中で、ブルドーザーが今入っている最中なんです。そういうのを見たばかりなんで、この完了って言う意味と現状が、ちょっと合わないんじゃないかな。これも完了しているんであれば、それなりの報告が関係住民等にもあったと、そういう話は聞いたこともないんで。この完了っていう判断。本当にそうなのかなっていう素朴な疑問があるんですが。

○議長（古舘章秀君） はい、北館係長。

○復興推進課副主幹兼復興推進係長（北館克彦君） 越田山の整備事業につきましては、最初都市公園のほうでの整備というような形でございました。しかしながら、調査の段階で規模等が、そちらに当てはまらないということで、途中といいますか終了したというような形のものでございます。今別事業で実施をしているというところでございます。

○議長（古舘章秀君） 落合議員。

○16番（落合久三君） 今の北館係長の説明だと、別事業名でやっているっていうのは、どういう意味ですか。ここは、大きい括りで言いますと、国土交通省関係に該当するんですが。国交省以外の別事業っていうことですか。

○議長（古舘章秀君） 北館係長。

○復興推進課副主幹兼復興推進係長（北館克彦君） はい。すいませんちょっと別事業のですね。その詳細まではっきりしたところが、私もうろ覚えなので別事業と発言しましたけれども。復興交付金ではないという部分でございます。多分、防災減災事業債のほうでやられている中身ではなかったかなと把握してございます。

○議長（古舘章秀君） 落合議員。

○16番（落合久三君） そうすると復興交付金事業でやった分は終わっているが、所管は多分危機管理課だと思うんですが。そっちのほうに…まあいいや。後でちゃんと説明をお願いします。

○議長（古舘章秀君） ほかにありませんか。なければ、この件についてはこれで終わります。
説明員は退席願います。

〔説明員退席〕

○

○議長（古舘章秀君） 次に、その他ですが、私から皆様に報告がございまして。報告でございまして、この新庁舎が出来て、広域行政組合、沿岸知的障害児施設組合。この両組合の議会について、議事堂の議場の使用について、許可をしていただきたいという申し出がありました。そこで、私の判断として、許可をするということを前提にお話ししました。その理由といたしまして、議事堂の議場はフラット化をし、市民に開放するという皆さんからのご意見もありました。また、議場については、私たち議会に支障がないという判断ができれば、使用を許可しても良いと思ひまして、両議会については許可をしたいと思ひ、その旨をお話ししましたので、皆さんに報告いたします。ご理解のほどお願いしたいと思ひます。

それでは、次に事務局長のほうから連絡があります。

○事務局長（菊池俊二君） はい。連絡といいますか、お願いがございまして。新しい議場で今回初めての一般質問になります。今までですと、タイムキーパーと言いますか、私のところで60分という表示を行っていましたが、今度はモニターのほうで時間が表示されるようになります。そのモニターを見ていただいて、残り時間が表示されますから、60分以内に質問を終わっていただくということでお願いをしたいと思ひます。

それから、前回カメラの位置が高いものですから、顔のバランスがちょっとまずいという、その分については

当局のほうに改善をお願いしております。ただ、今回の12月定例会議までには、その部分は直らないということでございますので、3月定例会議に向けて、その調整はしていただくことで進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

時間表示の部分をちょっと皆さんで、一度議場で確認していただければと思います。両方、当局側と議員側で二つありますが、その画面に一般質問のときには時間だけが表示されます。インターネット中継については、その発言した人をそれぞれ追って流れますので、今までどおり常に発言する方が映っているということでご理解をいただきたいと思います。その部分は現場のほうで確認をいただければと思います。

○議長（古舘章秀君） はい。ただいま事務局長から説明がありましたが、一般質問の60分という部分につきましては、私もここは守っていきたいなと思いますので、途中で中止させる場合もあると思いますので、ご理解のほどお願いいたします。

そのほか、皆様から何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者多数〕

閉 会

○議長（古舘章秀君） なければこれをもって議員全員協議会を開会します。
ご苦労さまでした。

午前10時37分 閉会

宮古市議会議長 古 舘 章 秀